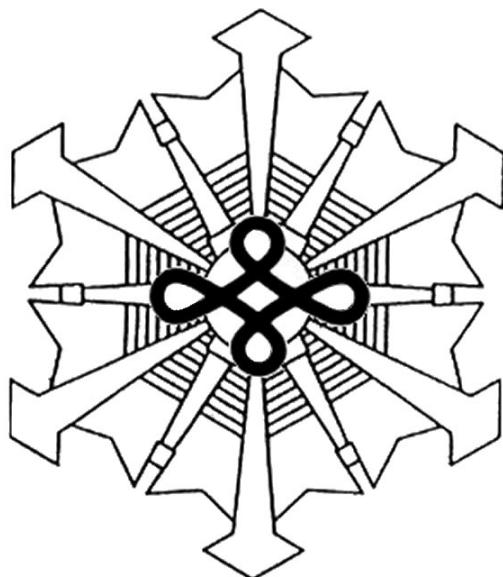


消防年報

令和7年版



第63号

西尾市消防本部

はしがき

この年報は、令和7年4月1日現在における西尾市の消防防災体制と、令和6年度及び令和6年中における火災、救急、救助等活動状況を取りまとめて収録したものであり、今後の消防行政の効率的な運営に役立てるとともに、西尾消防の現況についてご理解いただくことを目的として編集いたしました。

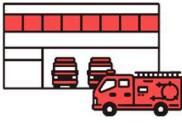
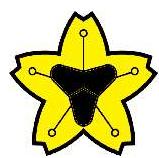


市の花 バラ

令和7年11月

西尾市消防本部

西尾市消防本部 一目統計

【令和7年4月1日現在】の数値									
面積	人口	世帯							
									
	<table border="1"> <tr> <td>男</td><td>85,795</td><td>人</td></tr> <tr> <td>女</td><td>83,489</td><td>人</td></tr> <tr> <td>計</td><td>169,284</td><td>人</td></tr> </table>			男	85,795	人	女	83,489	人
男	85,795	人							
女	83,489	人							
計	169,284	人							
161.22 km ²			69,388 世帯						
消防予算	消防庁舎	消防職員	救急救命士						
27億605万円 ¥	1 消防署 4分署 2出張所 1分遣所 	211人  <small>(再任用職員等18名を含む)</small>	70人  <small>(再任用職員6名を含む)</small>						
消防本部の車両	消火栓／防火水槽等	女性消防クラブ会員	少年消防クラブ会員						
50台 	1,831栓／388基 (その他水利183基)  消火栓  防火水槽	59人 	8,358人 						
幼年消防クラブ会員	防火対象物	危険物施設	危険物安全協会						
3,920人 	6,807棟 	533施設 	355会員 						
西尾市消防団	消防団員	消防団車両等	消防団施設等						
多団制（4団25分団） 	514人 	消防ポンプ自動車等 15台 手引き動力ポンプ 35台 	詰所 10棟 車庫 2棟 資機材庫 35箇所						
令和6年（令和6年1月1日～令和6年12月31日）の件数									
119番受信	火災発生件数	救急出動	救助出動						
11,026件 	57件 	7,983件 	65件 						

目 次

消防概要

西尾市の概要	1
西尾市消防本部の沿革	2～4
歴代 西尾市消防本部消防長	5
歴代 西尾市消防本部 消防署長	6
西尾市 市勢概要、現有消防力の配分	7
西尾市消防本部・消防署 庁舎	8
西尾市消防本部・消防署 組織図	9
令和7年度 西尾市消防本部 消防費予算内訳	10
西尾市消防本部 事務分掌	11～13

消防情勢

「消防力の整備指針」項目の充足率	14
消防現勢、通信施設	15
消防本部・消防署 車両一覧表	16～17
消防水利状況	18
特殊装備品一覧表	19～20
職員資格取得状況	21
職員教養状況	22
職員年齢状況、職員居住地状況	23

消防団

西尾市消防組織 配置図	24
西尾市消防団 組織図	25
歴代消防団長	26
西尾市消防団 編成表	27
団員年齢状況	28
団員就業形態・職業構成状況	29
団員居住地状況	30
消防団詰所・車庫・資機材庫一覧表	31
消防団（基本団）車両一覧表	32
消防団（機能別）小型ポンプ一覧表	33

予防事務

昭和34年以後の建築同意事務取扱状況、地区別建築同意件数、構造別建築同意件数	34
用途地域別建築同意件数	35
用途別建築同意件数	36

中高層建築物状況（3～20階）	3 7
消防用設備等着工届処理件数	3 8
消防用設備等設置届処理件数	3 9
危険物製造所等の規制対象状況、完成検査前検査状況	4 0
地区別危険物施設	4 1

防火・防災組織

西尾市少年消防クラブ、西尾市幼年消防クラブ、西尾市女性消防クラブ…	4 2～4 5
-----------------------------------	---------

火災統計

西尾市消防本部 令和6年火災の概要	4 6
火災発生状況	4 7
火災種別の割合、月別火災件数、覚知別火災件数	4 8
地区別火災件数の推移、火災種別損害額、損害額の推移	4 9
原因別火災件数、曜日別火災件数	5 0
時間別火災件数、火災による死傷者の推移	5 1

救急統計

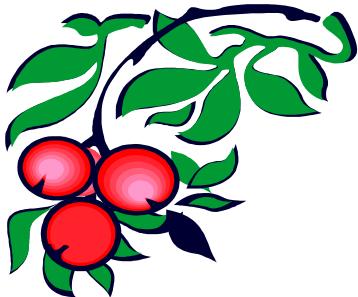
西尾市消防本部 令和6年 救急業務の概要	5 2
救急出動件数及び搬送人員	5 3
医療機関別搬送人員、傷病程度別搬送人員	5 4
署所別救急出動件数、地区別救急出動件数及び搬送人員	5 5
現場到着所要時間別出動件数、収容所要時間別搬送人員	5 6
年齢・性別搬送人員、時間別救急出動状況	5 7
救急法講習会実施状況、普通救命講習会実施状況	5 8
出動件数の推移	5 9

救助統計

西尾市消防本部 令和6年救助業務の概要	6 0
事故種別出動及び活動状況、地区別出動件数及び人員	6 1
発生場所別出動状況、発生場所別救助人員	6 2
月別救助出動状況、出動状況の推移（令和2年以降の出動状況）	6 3

気象統計

月別気象観測値	6 4
月別気温・湿度、気象の推移	6 5



西尾市の概要

西尾市は、愛知県の中央を北から南へ流れる矢作川流域の南端に位置し、東に三ヶ根山などの山々が連なり、西に矢作川が流れ、南は三河湾を臨みます。実り豊かな大地と温暖な気候が相まって、縄文のころより人の暮らしが営まれてきました。

昭和28年に市制を施行し、西三河南部地域の中核的な都市として自動車関連産業の発展とともに成長を続けてきました。一方で日本有数の生産量を誇る抹茶（てん茶）やカーネーション、養殖ウナギ、アサリなど農水産物の生産拠点としても発展しています。また、歴史的な史跡や名所が点在し、伝統的な祭りや芸能も多く伝えられているほか、三ヶ根山や三河湾に浮かぶ佐久島を含む一帯は三河湾国定公園に指定され、風光明媚な名勝となっています。

海・山・川に囲まれた豊かな自然環境の中で、地域に根ざした多様な文化と農・工・商のバランスのとれた産業を育んでいます。「自然と文化と人々がとけあい、心豊かに暮らせるまち」それが六万石城下町・西尾です。

【愛知県全体図】



西尾市消防本部の沿革

明治 7年頃	追羽新町（現菅原町）有志によって「雷連」と称する消防組が編成され、その後「雷組」に改称
明治 10年	葵町、会生町、瓦町の有志によって「消防組」が編成され、その後「火防組」に改称
明治 27年	「西尾町消防組」設置、「雷組」及び「火防組」解散
明治 29年	「西尾町公設消防組」設置、第1部（錦城）、第2部（大給）編成
大正 3年	同組第3部（上町）・第4部（八ツ面）編成
大正 10年	同組第5部（市街部）編成
昭和 14年	「公設消防組」を「警防団」に改編、東、西、南、北、中央分団設置
昭和 22年	「警防団」を「消防団」に改編、中央分団廃止
昭和 28年	西尾市制施行
	町村合併 昭和 29年 平坂町、寺津町、福地村、室場村 昭和 30年 三和村、碧海郡明治村の一部
昭和 30年	西尾市消防本部設置（5月1日） 西尾市消防団連合会を結成（11月解散） 西尾市消防団一団制
	16分団 485名 消防ポンプ自動車16台、小型動力ポンプ5台
昭和 36年	西尾市消防署設置（1月28日） 消防職員16名、消防ポンプ自動車1台、指令車（ジープ）1台をもって発足、水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、予備車1台購入、消防職員40名に拡充
	西尾市消防団規模縮小 12分団 338名
昭和 37年	西尾市消防団解団 水防団及び警防団を編成 17分団 483名、 消防ポンプ自動車3台、小型動力ポンプ8台
	短波無線局開設 D S B方式 基地局1、移動局5
昭和 40年	救急業務開始 西尾市消防署西分署開設（1月4日） 消防職員13名、消防ポンプ自動車1台
昭和 41年	短波無線局更新 S S B方式 基地局1、移動局2
昭和 42年	西分署新築（2月1日）鉄筋コンクリート2階建325.46m ² 短波無線移動局増設（6局） 基地局1、移動局8
	西尾市水防団及び警防団縮小 12分団 253名
昭和 43年	18mはしご付消防ポンプ自動車購入
	西分署救急業務開始
昭和 47年	西尾市消防署北出張所開設（12月1日） 消防職員9名、消防ポンプ自動車1台 消防用無線局を超短波無線に切替 基地局1、移動局11

昭和 48 年	化学消防ポンプ自動車購入
昭和 54 年	防災倉庫新設（江原町）
昭和 56 年	北出張所庁舎新築（1月 31 日）鉄筋コンクリート 2 階建 357.68 m ²
昭和 57 年	東出張所庁舎新築（3月 1 日）鉄筋コンクリート 2 階建 385.29 m ² 化学消防ポンプ自動車購入 西尾市消防署東出張所開設（6月 5 日） 消防職員 8 名、水槽付消防ポンプ自動車 1 台、消防ポンプ自動車 1 台
昭和 61 年	西尾市消防本部庁舎建設工事起工 庁舎 鉄筋コンクリート 3 階建 3,159.71 m ² 訓練塔 鉄筋コンクリート 6 階建 220.1 m ²
昭和 62 年	西尾市消防本部庁舎建設工事完成（9月 1 日） 消防緊急通信指令システム設置
昭和 63 年	35m はしご付消防ポンプ自動車購入
平成 1 年	小型動力ポンプ付水槽車購入
平成 2 年	救助工作車購入
平成 6 年	高規格救急自動車購入（消防署配備）
平成 7 年	100m ³ 飲料水兼用耐震防火水槽設置 消防無線救急波、全国波増設
平成 8 年	フロートジェットポンプ購入
平成 9 年	携帯電話 119 番分散受信システム開始
平成 10 年	高規格救急自動車購入（西分署配備）
平成 13 年	東出張所救急業務開始 高規格救急自動車購入（北出張所配備） 消防緊急通信指令施設更新
平成 14 年	北出張所救急業務開始 高規格救急自動車購入（東出張所配備）
平成 16 年	西分署庁舎耐震補強改修 北出張所庁舎耐震補強改修
平成 20 年	再任用職員雇用 2 名
平成 23 年	市町村合併（西尾市へ幡豆郡一色町・吉良町・幡豆町を編入） に伴い、幡豆郡消防組合消防本部と統合 消防職員 191 名（再任用職員 1 名を含む） 1 本部、1 署、4 分署、2 出張所体制 消防団担当を新設（総務課） 幡豆郡 3 町の消防団を引き継ぎ、3 団による多団制により組織し、各町が所管していた区域を管轄 西尾市一色消防団 4 分団 117 名 消防ポンプ自動車 3 台 小型動力ポンプ付積載車 3 台 西尾市吉良消防団 3 分団 102 名 消防ポンプ自動車 5 台 西尾市幡豆消防団 2 分団 77 名 消防ポンプ自動車 2 台 小型動力ポンプ付積載車 2 台

平成 26 年 高機能消防指令システム導入
幡豆分署を市役所幡豆支所内へ移転（3月18日）
平成 27 年 消防救急デジタル無線運用開始
平成 28 年 西尾市消防署一色分署佐久島分遣所開設（4月1日）
再任用職員4名（日勤）、広報車1台
水防団及び警防団を解団（9月30日）
西尾市機能別消防団発足（10月1日）
13分団 220名、小型動力ポンプ35台
令和 2 年 佐久島分遣所隔日勤務を開始
再任用職員5名
令和 3 年 機構改革に伴い消防本部指令課を設置（4月1日）
令和 5 年 消防職員定数を190名から202名に増員
消防長は消防正監、消防署長は消防監（4月1日）
令和 6 年 無人航空機（ドローン）運用開始（4月1日）
特別救助隊発足（6月1日）
令和 7 年 高機能消防指令システム更新

歴代 西尾市消防本部 消防長

歴代	氏名	在職期間	備考
1	坂部 亀太郎	自 昭和30年 5月 1日 至 昭和32年 8月 31日	助役兼務
2	杉浦 豊	自 昭和33年 5月 14日 至 昭和37年 6月 30日	〃
3	古居 寿一	自 昭和37年 7月 1日 至 昭和38年 1月 5日	消防署長を兼ねる
4	杉浦 豊	自 昭和38年 1月 6日 至 昭和41年 5月 13日	助役兼務
5	石川 賢一郎	自 昭和41年 5月 14日 至 昭和41年 6月 20日	〃
6	古居 寿一	自 昭和41年 6月 21日 至 昭和45年 3月 18日	〃
7	酒井 豊	自 昭和45年 6月 12日 至 昭和52年 3月 31日	〃
8	山田 金吾	自 昭和52年 4月 1日 至 昭和58年 3月 31日	消防署長を兼ねる 昭和57年4月1日専任
9	山田 史郎	自 昭和58年 4月 1日 至 昭和60年 3月 31日	専任
10	岩瀬 初男	自 昭和60年 4月 1日 至 平成 元年 3月 31日	〃
11	澤 敏夫	自 平成 元年 4月 1日 至 平成 2年 3月 31日	〃
12	村松 勉	自 平成 2年 4月 1日 至 平成 6年 3月 31日	〃
13	杉浦 正美	自 平成 6年 4月 1日 至 平成 12年 3月 31日	〃
14	広瀬 正和	自 平成 12年 4月 1日 至 平成 13年 3月 31日	〃
15	杉浦 秀夫	自 平成 13年 4月 1日 至 平成 16年 3月 31日	〃
16	鈴木 忠之	自 平成 16年 4月 1日 至 平成 19年 3月 31日	〃
17	稻吉 勝	自 平成 19年 4月 1日 至 平成 20年 3月 31日	〃
18	尾崎 善清	自 平成 20年 4月 1日 至 平成 22年 3月 31日	〃
19	嶋村 繁儀	自 平成 22年 4月 1日 至 平成 24年 3月 31日	〃
20	深見 孝良	自 平成 24年 4月 1日 至 平成 25年 3月 31日	〃
21	守山 金正	自 平成 25年 4月 1日 至 平成 26年 3月 31日	〃
22	岩瀬 智志	自 平成 26年 4月 1日 至 平成 29年 3月 31日	〃
23	太田 孝行	自 平成 29年 4月 1日 至 平成 31年 3月 31日	〃
24	岩瀬 長彦	自 平成 31年 4月 1日 至 令和 3年 3月 31日	〃
25	近藤 富士秋	自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月 31日	〃
26	市石 正樹	自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日	〃
27	杉浦 克彦	自 令和 5年 4月 1日 至 令和 7年 3月 31日	専任 (消防正監)
28	榎本 壮一	自 令和 7年 4月 1日	〃

歴代 西尾市消防本部 消防署長

歴代	氏名	在職期間	備考
1	杉浦 豊	自 昭和36年12月22日 至 昭和37年 6月30日	助役（消防長）兼務
2	古居 寿一	自 昭和37年 7月 1日 至 昭和38年 1月 5日	消防長兼務
3	鈴木 邦松	自 昭和38年 4月 1日 至 昭和44年12月31日	専任
4	山田 金吾	自 昭和45年 1月 1日 至 昭和57年 3月31日	専任 昭和52年4月1日消防長兼務
5	山田 史郎	自 昭和57年 4月 1日 至 昭和58年 3月31日	専任
6	岩瀬 初男	自 昭和58年 4月 1日 至 昭和60年 3月31日	消防次長兼務
7	澤 敏夫	自 昭和60年 4月 1日 至 平成 元年 3月31日	専任 昭和63年4月1日消防次長兼
8	村松 勉	自 平成 元年 4月 1日 至 平成 2年 3月31日	消防次長兼務
9	榎原 猛	自 平成 2年 4月 1日 至 平成 7年 3月31日	専任
10	新實 弘三	自 平成 7年 4月 1日 至 平成12年 3月31日	〃
11	永谷 昌弘	自 平成12年 4月 1日 至 平成14年 3月31日	〃
12	石原 秀男	自 平成14年 4月 1日 至 平成16年 3月31日	〃
13	羽佐田 輝幸	自 平成16年 4月 1日 至 平成19年 3月31日	〃
14	小倉 明	自 平成19年 4月 1日 至 平成22年 3月31日	〃
15	山崎 正之	自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日	〃
16	深見 孝良	自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日	専任（部次長級）
17	杉浦 正幸	自 平成24年 4月 1日 至 平成26年 3月31日	〃
18	大岡 元彦	自 平成26年 4月 1日 至 平成29年 3月31日	〃
19	加藤 悟	自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日	〃
20	近藤 富士秋	自 平成30年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日	〃
21	市石 正樹	自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日	〃
22	杉浦 克彦	自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日	〃
23	榎本 壮一	自 令和 5年 4月 1日 至 令和 7年 3月31日	〃
24	神谷 齊	自 令和 7年 4月 1日	〃

西尾市 市勢概要

令和 7 年 4 月 1 日現在

面積	1 6 1 . 2 2 km ²
人口	1 6 9 , 2 8 4 人
世帯数	6 9 , 3 8 8 世帯
消防本部の位置	東経 1 3 7 度 0 3 分、北緯 3 4 度 5 1 分
消防本部・消防署本署	〒 4 4 5 - 0 8 7 2 西尾市矢曾根町赤地 2 3 番地 1
消防署 北出張所	〒 4 4 5 - 0 8 0 2 西尾市米津町天竺桂 3 6 番地 1
消防署 東出張所	〒 4 4 5 - 0 0 0 5 西尾市米野町松葉内 7 番地 1
消防署 西分署	〒 4 4 4 - 0 3 2 5 西尾市楠村町寺前 1 2 番地
消防署 一色分署	〒 4 4 4 - 0 4 2 3 西尾市一色町一色伊那跨 5 3 番地
消防署 佐久島分遣所	〒 4 4 4 - 0 4 1 6 西尾市一色町佐久島掛梨 4 0 番地
消防署 吉良分署	〒 4 4 4 - 0 5 1 6 西尾市吉良町吉田宮前 3 6 番地
消防署 蘭豆分署	〒 4 4 4 - 0 7 0 3 西尾市西蘭豆町仲田 1 4 番地 2

現有消防力の配分

令和 7 年 4 月 1 日現在

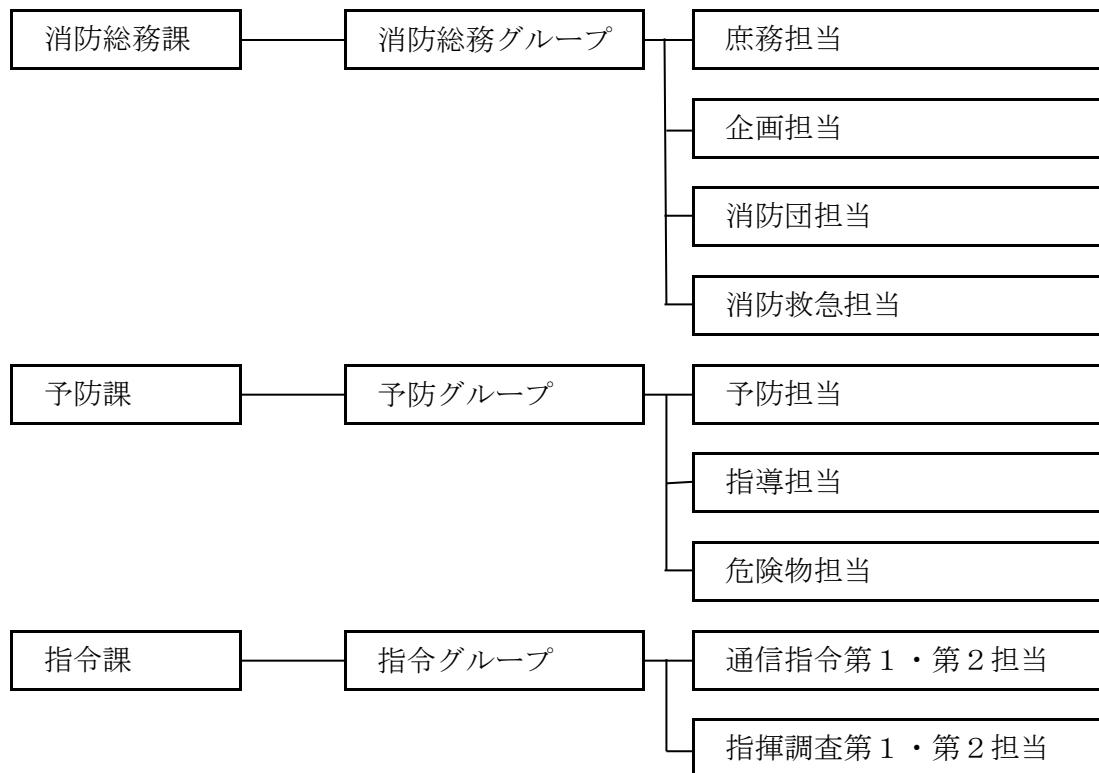
消防本部 (署)					
消防職員 1 名に対する			消防ポンプ自動車 1 台に対する		
面積	人口	世帯数	面積	人口	世帯数
0 . 7 6 km ²	8 0 2 人	3 2 9 世帯	1 2 . 4 km ²	1 3 , 0 2 2 人	5 , 3 3 8 世帯
消防職員 2 1 1 人 (再任用職員等 1 8 名を含む)			1 3 台 (化学車 2 台を含む)		

西尾市消防本部・消防署 庁舎

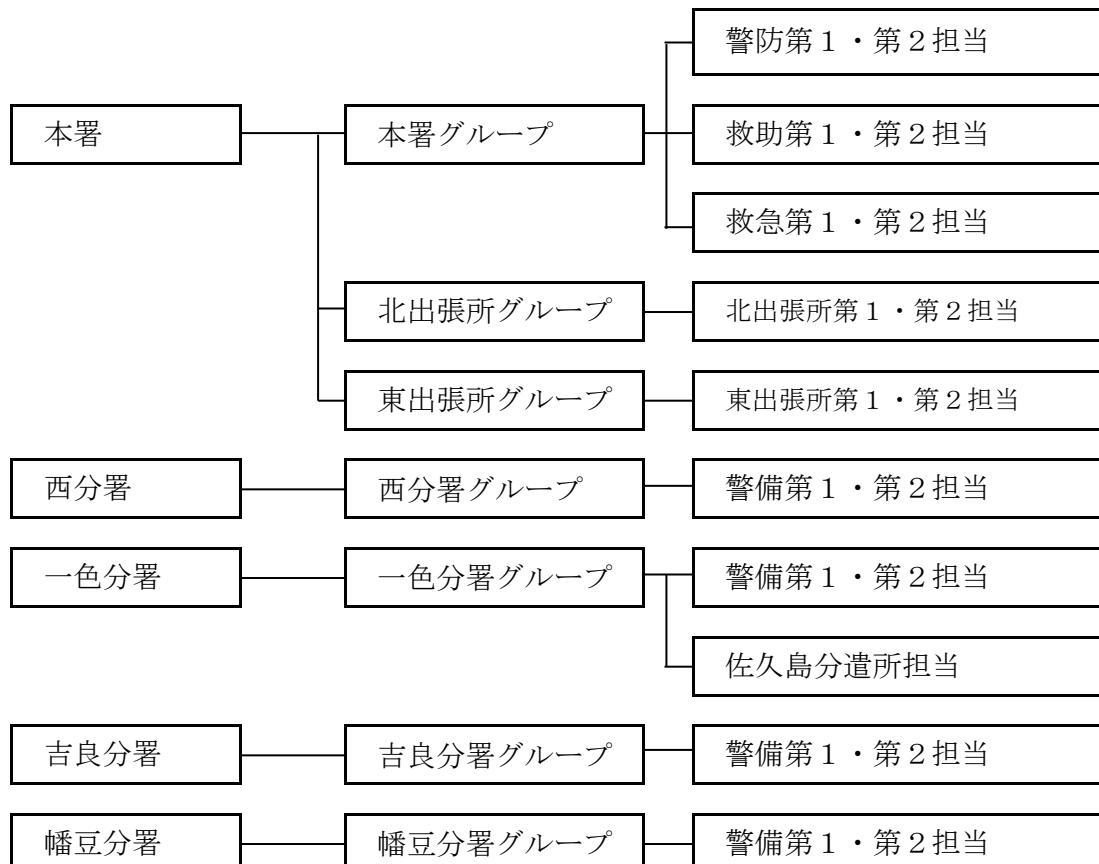
区分 署所	所在地	電話番号	敷地面積 (借地面積)	構造 (竣工)
消防本部 本署	〒445-0872 西尾市矢曾根町赤地23番地1	[代表] 0563-56-2110 [ダイヤルイン] 消防総務課 (庶務担当) 0536-56-6250 (企画担当) 0563-65-0311 (消防団担当) 0563-65-0312 (消防救急担当) 0563-56-2126 予防課 (予防担当) 0563-56-2143 (指導担当) 0563-56-6968 (危険物担当) 0563-56-2146 指令課 0563-56-2132 本署 0563-56-2127	7,288.42m ² (232.21m ²)	鉄筋コンクリート造 3階建 延 3,286.11m ² (昭和62年9月) 救急車車庫棟 鉄骨造 平屋建て (令和7年3月増築)
北出張所	〒445-0802 西尾市米津町天竺桂36番地1	0563-56-7689	747.10m ² (376.00m ²)	鉄筋コンクリート造 2階建 延 357.68m ² (昭和56年1月)
東出張所	〒445-0005 西尾市米野町松葉内7番地1	0563-52-2119	1,322.78m ²	鉄筋コンクリート造 2階建 延 385.29m ² (昭和57年3月)
西分署	〒444-0325 西尾市楠村町寺前12番地	0563-59-6419	1,341.42m ² (734.04m ²)	鉄筋コンクリート造 2階建 延 353.96m ² (昭和42年2月)
一色分署	〒444-0423 西尾市一色町一色伊那跨53番地	0563-72-2110	2,298.36m ²	鉄筋コンクリート造 3階建 延 1,308.00m ² (昭和60年3月)
佐久島 分遣所	〒444-0416 西尾市一色町佐久島掛梨40番地 佐久島開発総合センター内1階	0563-78-2011	佐久島開発総合 センター所有敷地 のため計上せず	鉄筋コンクリート造 2階建 (平成28年4月開設)
吉良分署	〒444-0516 西尾市吉良町吉田宮前36番地	0563-32-3150	2,714.95m ²	鉄筋コンクリート造 2階建 延 559.66m ² (昭和56年2月)
幡豆分署	〒444-0703 西尾市西幡豆町仲田14番地2 幡豆支所内2階	0563-62-3119	幡豆支所所有敷 地のため計上せず	鉄筋コンクリート造 3階建 (平成26年3月移転)

西尾市消防本部・消防署 組織図

消防本部



消防署



令和7年度 西尾市消防本部 消防費予算内訳

一般会計予算 74,600,000千円

消防費 2,706,051千円 (3.6%)

(単位 千円)

目 節	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	計
報酬	2,590	23,661		26,251
給料	778,476			778,476
職員手当等	629,157			629,157
共済費	273,406			273,406
災害補償費		3,055		3,055
報償費	99	4,985		5,084
旅費	4,564	33,357		37,921
交際費		70		70
需用費	56,031	7,267	2,000	65,298
役務費	15,528	835		16,363
委託料	22,691	501	27,160	50,352
使用料及び 賃借料	11,651	493	7,164	19,308
工事請負費			534,065	534,065
原材料費	427		450	877
公有財産 購入費			2,093	2,093
備品購入費	23,934	10,813	173,525	208,272
負担金、補助 及び交付金	13,795	14,210	25,703	53,708
公課費	1,738	311	246	2,295
計	1,834,087	99,558	772,406	2,706,051

西尾市消防本部 事務分掌

消防総務課

- (1) 公印の管理に関すること。
- (2) 条例、規則、規程等の制定及び改廃に関すること。
- (3) 文書の収受、発送及び整理保存に関すること。
- (4) 物品の出納、保管及び修繕に関すること。
- (5) 予算の編成、執行及び経理に関すること。
- (6) 消防財産の取得、管理及び処分に関すること。
- (7) 被服等の貸与及び給付に関すること。
- (8) 各課の連絡調整に関すること。
- (9) 消防行政の計画及び調整に関すること。
- (10) 消防施設の整備計画に関すること。
- (11) 消防の相互応援の事務及び調整に関すること。
- (12) 国民保護関連の事務及び調整に関すること。
- (13) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (14) 消防職員委員会に関すること。
- (15) 職員の研修及び教養に関すること。
- (16) 職員の福利厚生及び安全衛生管理に関すること。
- (17) 公務災害補償に関すること。
- (18) 消防関係の褒章及び表彰等に関すること。
- (19) 消防統計に関すること。
- (20) 消防の広報に関すること。
- (21) 消防団に関すること。
- (22) 警防救助事務に関すること。
- (23) 救急業務の高度化に関すること。
- (24) 防災関連の事務及び調整に関すること。
- (25) 消防活動の計画、基準等の作成に関すること。
- (26) その他他課に属しないこと。

予防課

- (1) 火災予防に関すること。
- (2) 火災予防条例の規定に基づく指導及び届出に関すること。
- (3) 防火防災管理者に関すること。
- (4) 立入検査及び法令違反の処理に関すること。
- (5) 幼少年女性消防クラブに関すること。
- (6) 建築許可等の同意に関すること。
- (7) 消防用設備等の設置指導に関すること。
- (8) 消防用設備等の点検報告に関すること。
- (9) 危険物等の規制に関すること。

- (10) 危険物災害の調査に関すること。
- (11) 少量危険物、指定可燃物等に関すること。
- (12) 煙火の消費許可等に関すること。
- (13) 液化石油ガスの保安に関すること。
- (14) 毒物及び劇物の貯蔵等の届出に関すること。
- (15) 危険物安全協会に関すること。

指令課

- (1) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (2) 火災等の記録及び統計に関すること。
- (3) 各種災害の指揮命令及び隊員の安全管理に関すること。
- (4) 通信の運用及び出動指令に関すること。
- (5) 気象情報、災害情報及び火災警報に関すること。
- (6) 通信施設の点検及び保全に関すること。
- (7) 気象統計に関すること。

本署

- (1) 水火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。
- (2) 地理及び水利の調査等に関すること。
- (3) 消防機械器具の点検及び保全に関すること。
- (4) 署員の教養及び訓練に関すること。
- (5) 火災とまぎらわしい行為等の届出に関すること。
- (6) 警防調査に関すること。
- (7) 立入検査及び法令違反の処理に関すること。
- (8) 緊急消防援助隊に関すること。
- (9) 消防の相互応援に関すること。
- (10) 救助業務に関すること。
- (11) 救助統計に関すること。
- (12) 救助資機材の点検及び保全に関すること。
- (13) 救急業務に関すること。
- (14) 救急統計に関すること。
- (15) 救急資機材の点検及び保全に関すること。
- (16) 応急手当の普及啓発活動に関すること。
- (17) 消防団等の訓練指導に関すること。
- (18) 火災の原因及び損害の調査に関すること。

分署

- (1) 水火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。
- (2) 地理及び水利の調査等に関すること。
- (3) 各種機械器具等の点検及び保全に関すること。
- (4) 署員の教養及び訓練に関すること。
- (5) 火災とまぎらわしい行為等の届出に関すること。
- (6) 警防調査に関すること。
- (7) 立入検査及び法令違反の処理に関すること。
- (8) 救助業務に関すること。
- (9) 救急業務に関すること。
- (10) 応急手当の普及啓発活動に関すること。
- (11) 消防団等の訓練指導に関すること。
- (12) 火災の原因及び損害の調査に関すること。

出張所

- (1) 水火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。
- (2) 地理及び水利の調査等に関すること。
- (3) 各種機械器具等の点検及び保全に関すること。
- (4) 火災とまぎらわしい行為等の届出に関すること。
- (5) 警防調査に関すること。
- (6) 立入検査及び法令違反の処理に関すること。
- (7) 救助業務に関すること。
- (8) 救急業務に関すること。
- (9) 応急手当の普及啓発活動に関すること。
- (10) 消防団等の訓練指導に関すること。
- (11) 火災の原因及び損害の調査に関すること。

分遣所

- (1) 水火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。
- (2) 地理及び水利の調査等に関すること。
- (3) 各種機械器具等の点検及び保全に関すること。
- (4) 火災とまぎらわしい行為等の届出に関すること。
- (5) 警防調査に関すること。
- (6) 立入検査及び法令違反の処理に関すること。
- (7) 火災予防の指導・啓発に関すること。
- (8) 救助業務に関すること。
- (9) 応急救護に関すること。
- (10) 応急手当の普及啓発活動に関すること。
- (11) 消防団等の訓練指導に関すること。
- (12) 火災の原因及び損害の調査に関すること。